令和４年１０月

保護者・地域の皆様へ

【小学校版】令和４年度全国学力・学習状況調査の結果

菰野町教育委員会

令和４年４月１９日に、小学校６年生を対象に実施された全国学力・学習状況調査の結果の概要をまとめました。

結果の公表については、保護者・地域の皆様に学校教育と家庭教育についてのご理解とご協力を得ることが何よりも大切であると考え、教科に関する結果、学力の背景となっている児童質問紙調査からみられた本町の児童の好ましい傾向と教育課題、そして今後の取り組みについてお示しさせていただきます。

教科に関する調査結果の概要

教科に関する調査は、国語、算数、理科の３教科で実施されました。本町では、国語、算数、理科それぞれにおいて、全国の平均正答率を下回る結果となりました。

以下に、調査結果から「おおむね理解している問題」と「課題がみられた問題」についてまとめました。

【小学校　国語】

≪おおむね理解している問題≫

◇　漢字や仮名の大きさ、配列に注意して手紙を書く問題。（正答率：約８割）

・手紙を書き直す時に気をつけた内容として適切なものを選択することができます。

≪課題がみられた問題≫

◆　文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける問題。（正答率：約３割）

・「【文章２】六年生としてがんばりたいこと」から言葉や文を取り上げて、自分の文章のよさを書きまとめることに課題がみられます。

課題がみられた問題

二　島谷さんは、川口さんと【文章２】を読み合い、感想を伝え合いました。次の【伝え合いの様子の一部】をよく読み、あとの問いに答えましょう。

【伝え合いの様子の一部】

島谷さん　私のがんばろうとしていることが伝わるかな。

川口さん　伝わってきたよ。それは、上級生が話してくれたことや、委員会で活動したことをもとにしているからだね。

島谷さん　それはよかった。他に気づいたことはあるかな。

川口さん　最後の段落がいいね。なぜかというと、最初の段落の内容をより具体的に書いているから、今年がんばろうとしていることがくわしく伝わってきたよ。

島谷さん　ありがとう。自分でもふり返ってみるね。次は、川口さんの文章を読んだ感想を伝えるね。

～（伝え合いが続く）～

【文章２】

わたしがこの一年間でがんばりたいことは、運動委員としてみんなのことを考えた新たな活動を進めることです。

そう考えたのは、五年生の時、美化委員長の南さんが卒業する前に話してくれた、活動への思いがすばらしいと思ったからです。南さんは、みんなにそうじ用具の正しい使い方を知ってほしいという思いをもち、正しく使うことができている学級の様子を**ア**ろくがして、各学級にしょうかいしたそうです。

この話を聞き、五年生の時にさいばい委員会で自分が行った活動をふり返りました。そして、当番の日に水やりをするだけで、南さんのように、みんなのために新たな活動を提案できなかったことを**イ**はんせいしました。

わたしは今年、運動委員になりました。運動が苦手な人も**ウ**したしむことができるように、ルールや道具をくふうした、おに遊びやボールゲームを各学級にしょうかいしたいです。

（問い）　島谷さんは、川口さんと伝え合ったことをもとに、自分の文章のよさをふり返り、書くことにしました。**あなたが島谷さんなら**、どのようなよさを書きますか。次の条件に合わせて書きましょう。

〈条件〉

○【文章２】のよさを書くこと。

○【文章２】から言葉や文を取り上げて書くこと。

○六十字以上、百字以内にまとめて書くこと。

≪今後の学習の手立て≫

ペアやグループでお互いの文章を読み合い、「書き方の工夫」や「言葉の選び方」などについて感想や意見を伝え合い、伝え合ったことをもとに自分の文章のよさについて書きまとめる学習を設定していきます。また、目的を意識して文章から読み取った内容を条件などに合わせて短く書きまとめる学習を大切にしていきます。

【小学校　算数】

≪おおむね理解している問題≫

◇　二つの数の最小公倍数を求める問題。（正答率：約８割）

・１４と２１の最小公倍数を求めることができます。

≪課題がみられた問題≫

◆　正三角形の性質をもとに角の大きさに着目して、正三角形の構成の仕方を記述する問題。

（正答率：約４割）

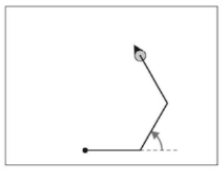
・問題文に示されたプログラムの命令を、１辺が５㎝の正三角形をかくことができるように、言葉と数を使って正しい命令に書き直すことに課題がみられます。

課題がみられた問題

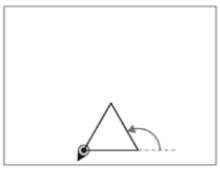
(1)　はなこさんたちは，１辺が５cmの正三角形をかこうとしています。

ひろと：正三角形は，３つの辺の長さが等しくて，３つの角の大きさがすべて60°の三角形ですね。

はなこさんは，下の**かこうとした正三角形**をかくことができませんでした。



実際の結果



かこうとした正三角形

そこで，**つくったプログラム**を見直すことにしました。

つくったプログラム

① 5cmの直線を引く。
⇩
② 左に60°回転する。
⇩
③ 5cmの直線を引く。
⇩
④ 左に60°回転する。
⇩
⑤ 5cmの直線を引く。

はなこ：5cmの直線を引く。左に60°回転する。２種類の命令のうち，どちらかの命令を直すと**かこうとした正三角形**ができますね。

かこうとした正三角形をかくには，どちらの命令を直すとよいですか。下の **ア** と **イ** から選んで，その記号を書きましょう。また，その選んだ命令を，言葉と数を使って，正しい命令に書き直しましょう。

ア　5cmの直線を引く。

イ　左に60°回転する。

≪今後の学習の手立て≫

ICT機器を活用していろいろな命令を組み合わせて図形を作図するプログラミング学習の機会を設定していきます。作図ができなかった場合は、角の大きさや辺の長さに着目して、図形の性質をもとに「どのように命令を変更すればよいか」について考えたり、例えば「回転する角の大きさを１２０°」にした理由について友だちに説明したりする学習を大切にしていきます。

【小学校理科】

≪おおむね理解している問題≫

◇　器具の名前を正しく記述する問題。（正答率：約８割）

・一定量の液体の体積を適切にはかる「メスシリンダー」という器具の名前を書くことができます。

≪課題がみられた問題≫

◆　実験結果を問題の視点で分析し、その内容を結論（まとめ）の根拠として記述する問題。

（正答率：約３割）

・問題に対するまとめを、「はね返した日光を水の入った缶にあてると、黒色の缶の水の温度が最も高くなる。」とまとめた理由を実験結果の数値などをもとにして書くことに課題がみられます。

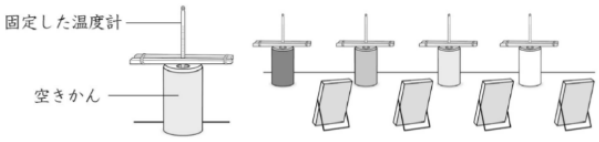
課題がみられた問題

【問題】

はね返した日光を水の入ったかんにあてると，何色のかんの水の温度が最も高くなるのか。

たかしさんたちは，次のような実験をしました。

【方法】



①同じ種類，同じ大きさの空きかんに色をぬる。（黒色，赤色，青色，白色）

②それぞれの空きかんに，同じ量の水を入れ，温度計をとりつける。

③はね返した日光をかんにあて，０分，20分後，40分後のかんの中の水の温度をはかる。

実験の**【結果】**は，下の表のようになりました。

【結果】　〈かんの色による水の温度の変化〉

かんの色＼時間	0分	20分後	40分後
黒	24℃	28℃	32℃
赤	24℃	27℃	29℃
青	24℃	27℃	30℃
白	24℃	25℃	26℃

はなこさん：**【問題】**に対するまとめは，「はね返した日光を水の入ったかんにあてると，黒色のかんの水の温度が最も高くなる。」といえる。

(4)　はなこさんが，**下線部のようにまとめたわけ**を上の**【結果】**を使って書きましょう。

≪今後の学習の手立て≫
理科の学習では、実験結果が出た後の結果をもとにまとめを書きまとめる学習場面がとても重要です。問題に対するまとめを行う時には、実験結果の数値を学級全体で共有し合ったり、まとめの根拠となる実験結果の数値を確認し合ったりした上で、まとめを書きまとめる学習を大切にしていきます。

児童質問紙調査からみられた傾向と課題

菰野町の子どもたち

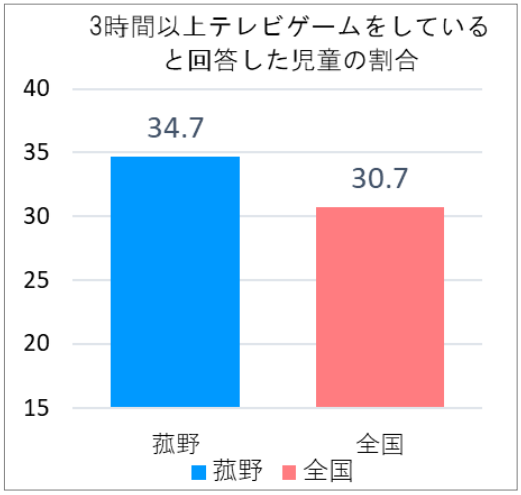
自分には よいところがある	将来の夢や目標を 持っている	人の役に立つ 人間になりたい	友達と協力する のは楽しい	地域の行事に 参加している
80.5%	81.3%	96.9%	96.9%	67.9%
（全国 79.3%）	（全国 79.8%）	（全国 95.1%）	（全国 94.0%）	（全国 52.7%）

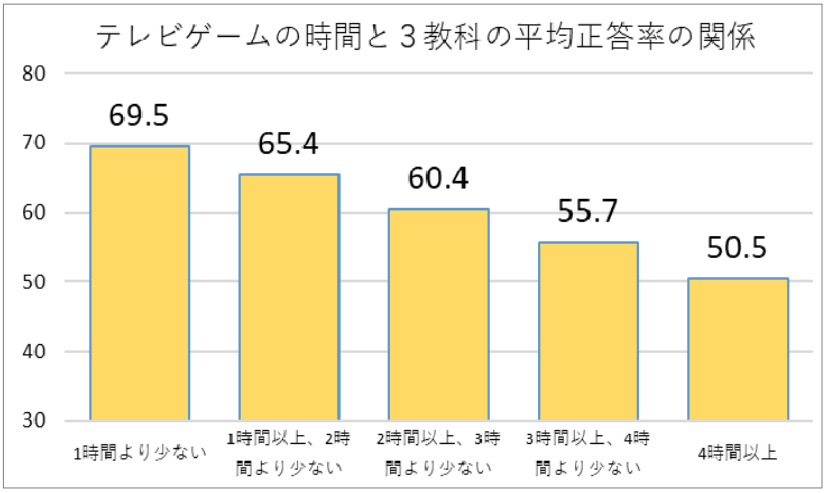
※子どもたちが児童質問紙で肯定的に回答した割合が全国より高かった設問より

菰野町では、教育活動全体において、子どもたち一人ひとりをほめたり、認めたり、励ましたりしながら自尊感情を育むこと、仲間と安心して学び合える学習環境をつくることを大切にしてまいりました。
今後も、子どもたち一人ひとりのよさを認めたり、達成感を味わわせたりする教育活動を推進し、子どもたちが将来の夢や目標の実現に向かって自信を高めていけるよう努めてまいります。
また、菰野町の子どもたちは、保護者・地域の皆様に支えられ、すこやかに成長しています。今後も保護者・地域の皆様と連携・協働して地域ならではの特色を生かした学校づくりを進めてまいります。

ご家庭でお願いしたいこと

Q　普段、１日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか





３時間以上テレビゲームをしていると回答した児童の割合は、全国と比べて高い傾向にあります。

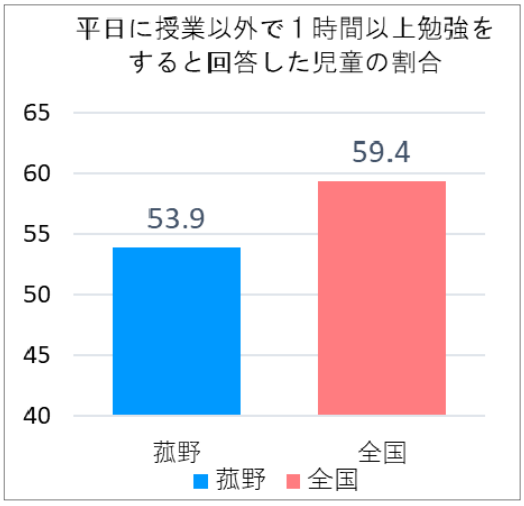
テレビゲームの時間が少ない児童ほど、３教科の正答率が高い傾向にあります。また、テレビゲームの時間が長い児童ほど、正答率が低い傾向にあります。

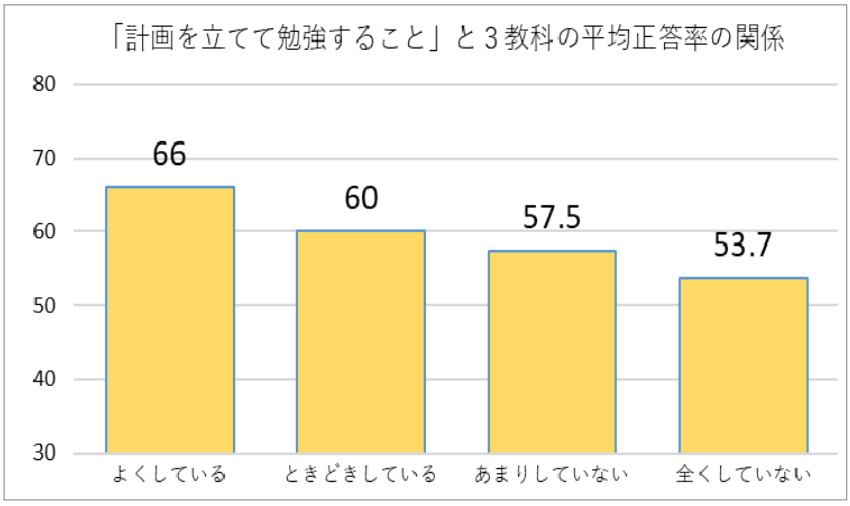
ゲームをする時間についてお子さんと話し合いましょう

ゲームに夢中になると時間がたつのを忘れてしまいます。ゲームをする時間が長くなることによって、生活リズムがくずれたり、学習する時間がけずれたりすることが心配されます。また、目などの健康面への影響も心配されます。

ゲームをする時間についてお子さんと話し合い、時間（１日何分以内）や時刻（何時以降はしない）を決めましょう。そして、約束を守るように声かけをお願いします。

Q　学校の授業時間以外に、普段、１日当たりどれくらいの時間、勉強しますか





授業以外で１時間以上勉強をしていると回答した児童の割合は、全国と比べて低い傾向にあります。

家で、自分で計画を立てて勉強（予習や復習をふくむ）をしている児童ほど、３教科の正答率が高い傾向にあります。

家庭で学習する習慣を身につけさせましょう

家庭学習の基本は学校の宿題です。繰り返しの練習や授業の予習・復習に日常的に取り組むことで、基礎・基本が確実に定着していきます。子どもたちが毎日の宿題に取り組むことができるように、励ましの声かけや学習に集中して取り組める環境づくりにご協力をお願いします。

菰野町では、家庭学習の充実ために「家庭学習の手引き」を作成し、子どもたちと保護者の皆様に配付しています。「家庭学習の手引き」をご活用いただき、お子さんと一緒に家庭学習の取り組みについて、振り返っていただきますようお願いします。

保護者・地域の皆様へ

菰野町では、学校と教育委員会が一体となって、子どもたちの「確かな学力」の育成をめざして、子どもたちが「わかる・できる喜び」を実感できる授業改善と学力向上に向けた取り組みを進めてまいります。

今後も、学校・家庭・地域が一体となって、子どもたちの成長を支えてまいりたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いします。